

東日本大震災から2年

フォトルポ・被災地のいま

東日本大震災から2年が経った。3月30日付紙面で東北地方沿岸部を中心に、被災地の現状を伝えるレポートを掲載、復興に努める観光業者の姿を追った。ここでは現地で撮影した写真を再掲載する。

観光の力で復興加速



① 船くんでぎわった町の記憶を未来へ—アルミ複合版のパネルで作られた「きりこ」にこう書かれていた。ここに店があったことを伝え、復興を誓う(南三陸町)
② 南三陸ホテル観光の一角にあるそば教室。地域の貴重なミニシアターの場ともなっている(右は女将の阿部憲子さん)
③ 津波で線路が流されたJR気仙沼線。地域住民の貴重な足もなくなっていただけに、早期の復旧に期待がかかる
④ 南三陸町にあるバス高速輸送システム(BRT)の停留所。JR気仙沼線の柳津—気仙沼間を結ぶ
⑤ 昨年2月にオープンした仮設商店街「南三陸さんさん商店街」。地元業者30店が軒を連ねる



⑥ 宮城県塩釜市の水産物仲卸市場。宮城三陸のあわびなど新鮮な魚介類が魅力で、買い物客でにぎわっている
⑦ JR磐越西線の磐梯熱海駅前にある足湯。観光客らがのんびりと足を浸している
⑧ JR仙石線野蒜駅(宮城県東松島市)。津波で甚大な被害を受け、復旧もままならない状況だ
⑨ 農地の復旧、除塩工事が進む仙台市若林区
⑩ 松島の観光スポットの一つ、国宝・瑞巖寺の参道にある表示。海岸から約200m地点まで津波が押し寄せた
⑪ 磐梯熱海温泉の温泉施設「郡山ユラックス熱海」。放射線量の測定値を公表している
⑫ 営業を再開した宮城県亘理町のいちご農園「こうちゃん園」の赤間進さん。いちごを手にした笑顔が印象的だ

